

令和5（2023）年度

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）

第4回 実施報告

実施日：令和5（2023）年9月22日（金）

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）の第4回は、栃木県とちぎ男女共同参画センター、宇都宮大学ダイバーシティ研究環境推進本部、公益財団法人とちぎ男女共同参画財団が主催した「令和5（2023）年度男女共同参画セミナー公開講座」に参加する形で実施しました。

講演「女性はいつも [Be Ambitious]

～アンコンシャス・バイアス（性別による無意識の思い込み）を超えて～」

講師 昭和女子大学 総長 板東 眞理子 氏

講話では、まず、「当たり前」の中に女性の適性に対するアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）があることについての説明がありました。男性の女性に対する思い込み、女性自身がもっている思い込みについてそれぞれ話があり、男性だけでなく女性自身も「～に違いない」という思い込みにとらわれているとのことでした。

次に、アンコンシャス・バイアスについての詳しい説明がありました。私たちには、性別・年齢・学歴などに対して知らないうちに思い込んでしまっているモノの見方や考え方があり、それが無意識の偏見となっているとのことです。女性は、「あなたは女性だから」「無理なくいい」と言われ続けていることで「私はどうせ女性だから」「これでよいのだ」と思い込み、それらのアンコンシャス・バイアスから解放されるためには、まず、女性自身が思い込みに気付くことが大切であるとの説明がありました。

最後に、学びへのチャレンジ、家庭・家族へのチャレンジ、職業・職場でのチャレンジ、高齢期のチャレンジなど、女性にとってどのようなチャレンジが必要かという説明がありました。「自己実現できること」の幸せと、更にもうその上の「自分のしたことが他の役に立っていること」の幸せについて話があり、「やれることにチャレンジしていく。やれることはもっとたくさんある。」と受講者にメッセージが送られました。



【受講者の感想】

- ・自分の思い込みに気付かされました。思い込みとは何かが分かりました。
- ・偏見や思い込み等が、社会だけでなく、自分の生活の可能性を閉ざしてしまっているのだと気付かされました。無意識の思い込み（子どもの時からの習慣）が偏った考えになってしまうという怖さにも気付かされました。
- ・アンコンシャス・バイアスは、老若男女を問わず、社会全体に存在していること、それを打開していくには、個々人が自分のやりたいことを狭く捉えずに挑戦していくことが必要であることを改めて考えさせられました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp